

令和5年10月24日

交通事故概況

令和5年9月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況（9月末計上数（確定数））

1 令和5年9月中の交通事故発生状況

区分\内容	9月中		9月末	
	発生件数	前年比	発生件数	前年比
発生件数（件）	717	-3	6,393	300
死者数（人）	9	-7	89	6
傷者数（人）	826	2	7,470	386

[過去10年、9月中、9月末及び年間死者の推移]

区分\年別	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	過去平均		R5年	
												10か年		5か年
												17		14
9月中死者	23	24	17	15	17	12	19	19	5	16	17	14	9	
9月末死者	124	128	132	103	106	104	104	104	83	83	107	96	89	
年間死者	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	151	134	—	

都道府県別（9月中）

順位	1	2	4			6
都道府県名	愛知	埼玉	福岡	大阪	千葉	北海道
死者数	13	12	10			9

都道府県別（9月末）

順位	1	2	3	4	5
都道府県名	大阪	愛知	東京	北海道	千葉
死者数	111	106	91	89	84

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 9月中の死亡事故（死者9人）

- 事故類型別：正面衝突、車両単独が各々3人（33.3%）
- 道路別：国道が7人（77.8%）
- 地形・道路形状別：非市街地カーブが3人（33.3%）、市街地直線、非市街地カーブが各々2人（22.2%）
- 発生時間別：12～14時、16～18時が各々2人（22.2%）
- 第一当事者年齢別（第1当原付以上）：50歳代運転者が4人（44.4%）、60～64歳の運転者が3人（33.3%）
- 第一当事者違反別（第1当原付以上）：前方不注意が5人（55.6%）
- 死者年齢別：50歳代死者、高齢の死者が各々3人（33.3%）

(2) 9月末の死亡事故（死者89人）

- 事故類型別：
 - ・ 車両単独が26人29.2%（うち前方不注意が11人42.3%、最高速度が6人23.1%）
 - ・ 人対車両が25人28.1%（うち前方不注意が8人32.0%、歩行者妨害が6人24.0%）
 - ・ 正面衝突が24人27.0%（うち前方不注意が14人58.3%）
- 道路別：
 - ・ 国道が43人48.3%（うち正面衝突が15人34.9%、人対車両、車両単独が各々11人25.6%）
 - ・ 道道が22人24.7%（うち正面衝突、車両単独が各々6人27.3%）
- 地形・道路形状別：
 - ・ 非市街地カーブが25人28.1%（うち正面衝突が16人64.0%、車両単独が9人36.0%）
 - ・ 市街地交差点が23人25.8%（うち人対車両が15人65.2%）
- 発生時間別：
 - ・ 10～12時が15人16.9%（うち正面衝突が9人60.0%）
 - ・ 12～14時が12人13.5%（うち人対車両が4人33.3%、正面衝突、出会い頭が各々3人25.0%）
- 第一当事者年齢別（第1当原付以上）：
 - ・ 高齢運転者による死者が25人28.1%（うち車両単独が10人40.0%、正面衝突が8人32.0%）
 - ・ 40歳代運転者による死者が17人19.1%（うち人対車両が8人47.1%、出会い頭が5人29.4%）
- 第一当事者違反別（第1当原付以上）：
 - ・ 前方不注意が36人40.4%（うち正面衝突が14人38.9%、車両単独が11人30.6%）
 - ・ 最高速度が10人11.2%（うち車両単独が6人60.0%、正面衝突が4人40.0%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が36人40.4%（うち人対車両が16人44.4%、車両単独が9人25.0%）
 - ・ 50歳代の死者が15人16.9%（うち車両単独が6人40.0%、人対車両、正面衝突が各々4人26.7%）
- シートベルト着用者：

自動車乗車中の死者46人中、シートベルト非着用者は12人（26.1%）であり、その内の8人は、シートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

9月中の死者は札幌方面が4人(44.4%)、釧路方面が2人(22.2%)、函館方面、旭川方面、北見方面が各々1人(11.1%)、となっている。

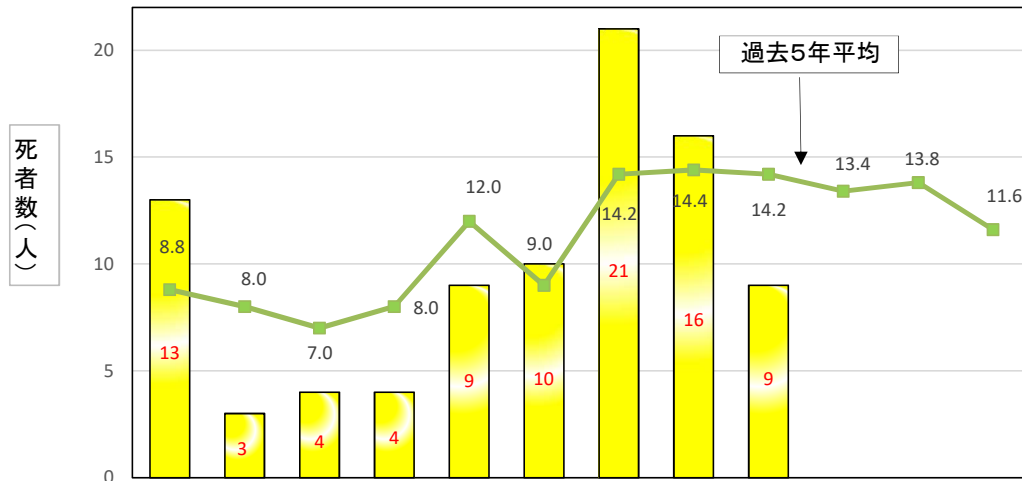
9月末の死者数は札幌方面が45人(50.6%)、釧路方面が16人(18.0%)、旭川方面が13人(14.6%)、函館方面が8人(9.0%)、北見方面が7人(7.9%)となっている。

方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		
	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比	
9月中	全道	717	-3	9	-7	826	2
	札幌方面	513	-36	4	-1	592	-34
	函館方面	50	-7	1	-1	55	-12
	旭川方面	54	2	1	-3	61	-3
	釧路方面	81	30	2	-2	94	40
	北見方面	19	8	1		24	11
9月末	全道	6,393	300	89	6	7,470	386
	札幌方面	4,708	146	45	1	5,485	210
	函館方面	402	-43	8	3	485	-49
	旭川方面	486	-2	13	-5	570	-26
	釧路方面	627	180	16	3	718	224
	北見方面	170	19	7	4	212	27

(4) 月別発生状況の推移

9月中の死者は9人で過去5年平均14.2人を下回っている。

9月末の死者数は89人で過去平均95.6人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和5年	13	3	4	4	9	10	21	16	9				89
年間累計	13	16	20	24	33	43	64	80	89				
過去5年平均	8.8	8.0	7.0	8.0	12.0	9.0	14.2	14.4	14.2	13.4	13.8	11.6	134.4
累計平均	8.8	16.8	23.8	31.8	43.8	52.8	67.0	81.4	95.6	109.0	122.8	134.4	

(5) 都道府県別死者

9月中は愛知県が13人で最も多く、次いで埼玉県、福岡県が各々12人、大阪府、千葉県が各々10人で東京都、北海道が9人で6位となっている。

9月末は大阪府が111人で最も多く、次いで愛知県が106人、東京都が91人、北海道は89人、千葉県が84人で5位となっている。

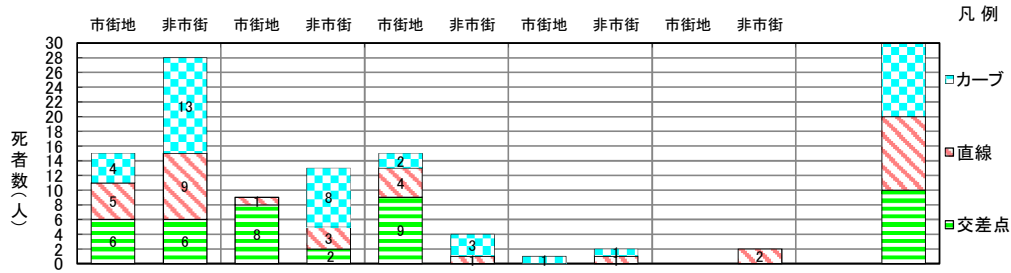
区分\都道府県	愛知	埼玉	福岡	大阪	千葉	東京	北海道	兵庫	静岡	神奈川	全国
9月中死者数	13	12	12	10	10	9	9	8	8	6	215
ワースト順位	1	2	2	4	4	6	6	8	8	10	—
前年比	6	1	8	2	0	-1	-7	0	-6	0	-7
増減率(%)	85.7	9.1	200.0	25.0	0.0	-10.0	-43.8	0.0	-42.9	0.0	-3.2

区分\都道府県	大阪	愛知	東京	北海道	千葉	埼玉	神奈川	福岡	茨城	兵庫	全国
9月末死者数	111	106	91	89	84	80	77	75	69	68	1,872
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	—
前年比	7	12	1	6	-2	1	1	25	12	-23	55
増減率(%)	6.7	12.8	1.1	7.2	-2.3	1.3	1.3	50.0	21.1	-25.3	3.0

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

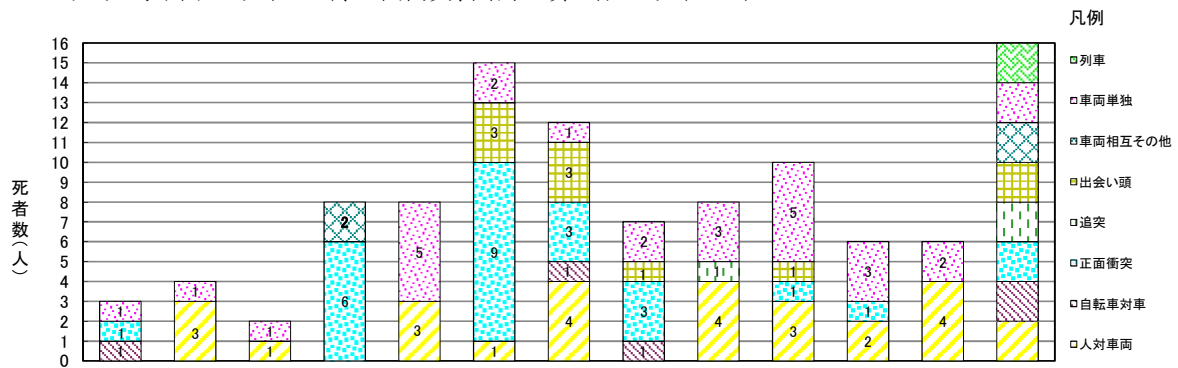
- 国道が43人(48.3%)、次いで道道が22人(24.7%)となっている。
 ・ 国道は非市街地カーブが13人(30.2%)、非市街地直線が9人(20.9%)
 ・ 道道は市街地交差点、非市街地カーブが各々8人(36.4%)



区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	43	22	19	3	2	89
構成率(%)	48.3	24.7	21.3	3.4	2.2	100.0
過去5年構成率	40.8	23.1	28.5	2.2	5.4	100.0

(2) 時間別

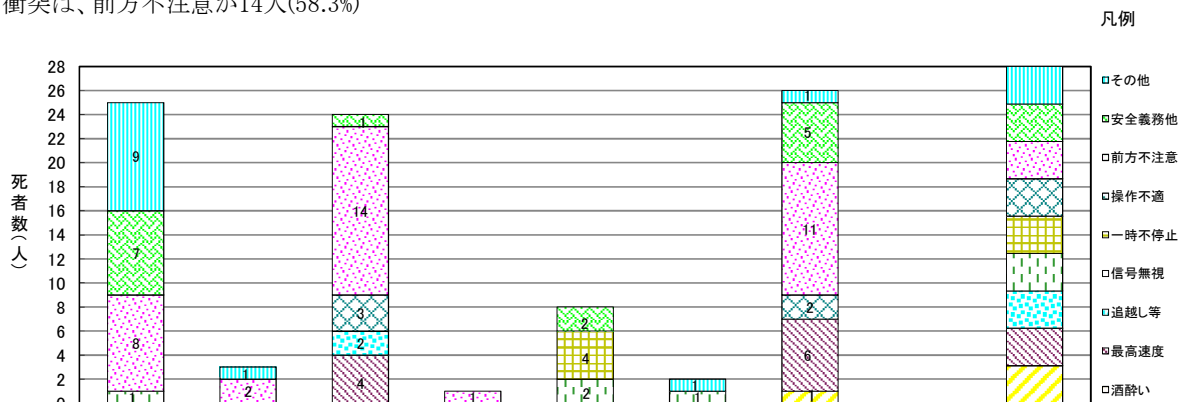
- 10～12時が15人(16.9%)、次いで12～14時が12人(13.5%)となっている。
 ・ 10～12時は正面衝突が9人(60.0%)
 ・ 12～14時は人対車両が4人(33.3%)、正面衝突、出会い頭が各々3人(25.0%)



区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数	3	4	2	8	8	15	12	7	8	10	6	6	89
構成率(%)	3.4	4.5	2.2	9.0	9.0	16.9	13.5	7.9	9.0	11.2	6.7	6.7	100.0
過去5年構成率	3.7	3.0	4.1	8.0	10.4	15.1	12.7	13.6	8.9	9.9	5.6	5.0	100.0

(3) 事故類型別

- 車両単独が26人(29.2%)、次いで人対車両が25人(28.1%)、正面衝突が24人(27.0%)となっている。
 ・ 車両単独は、前方不注意が11人(42.3%)、最高速度が6人(23.1%)
 ・ 人対車両は、前方不注意が8人(32.0%)、歩行者妨害(その他に含まれる)が6人(24.0%)
 ・ 正面衝突は、前方不注意が14人(58.3%)

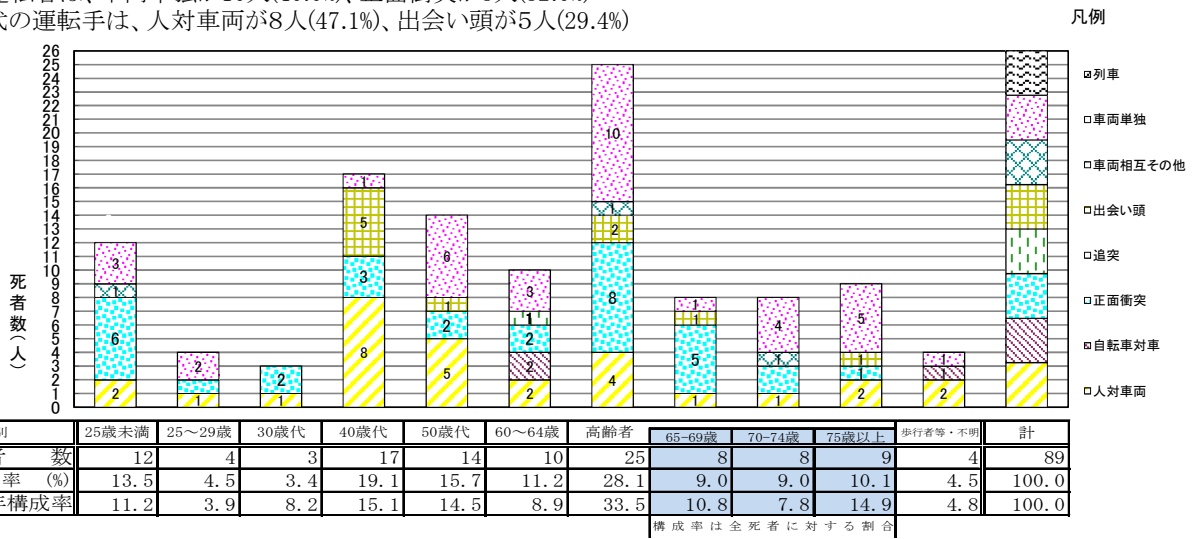


区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	25	3	24	1	8	2	26	89	
構成率(%)	28.1	3.4	27.0	1.1	9.0	2.2	29.2	100.0	
過去5年構成率	24.0	6.0	20.3	2.8	9.5	4.5	32.2	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者が25人(28.1%)、次いで40歳代の運転者によるものが17人(19.1%)となっている。

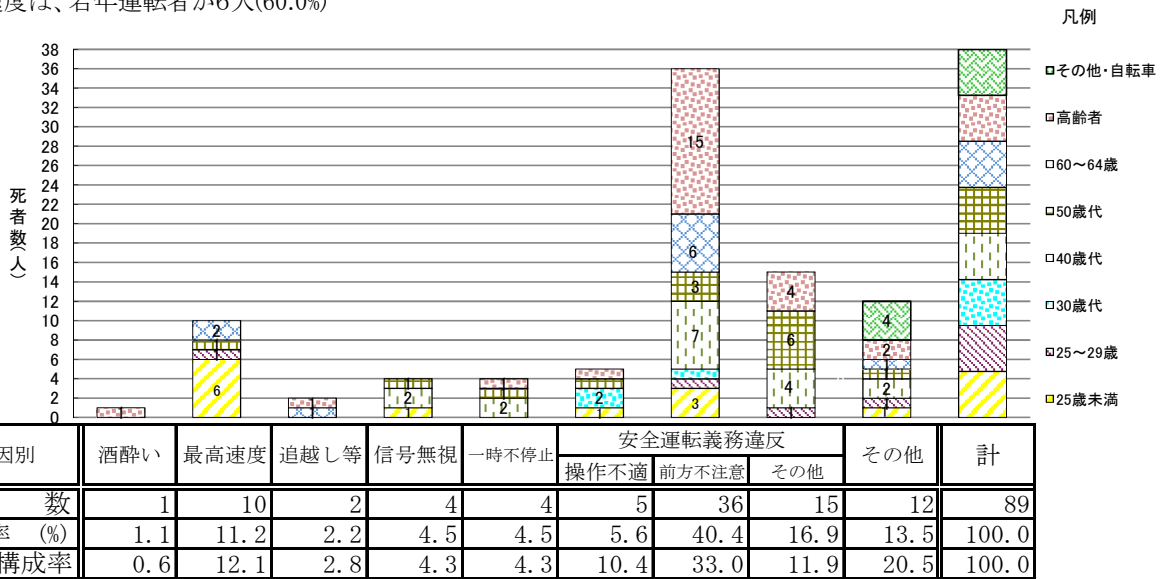
- ・ 高齢運転者は、車両単独が10人(40.0%)、正面衝突が8人(32.0%)
- ・ 40歳代の運転手は、人対車両が8人(47.1%)、出合い頭が5人(29.4%)



(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが36人(40.4%)、次いで最高速度によるものが10人(11.2%)となっている。

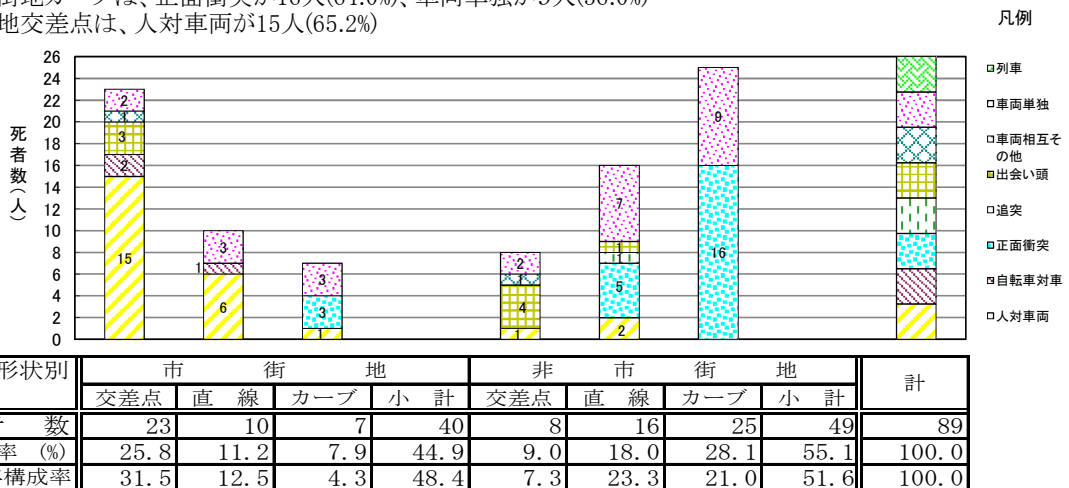
- ・ 前方不注意は、高齢運転者が15人(41.7%)、40歳代の運転者が7人(19.4%)
- ・ 最高速度は、若年運転者が6人(60.0%)



(6) 地形・道路形状別

非市街地カーブが25人(28.1%)、ついで市街地交差点が23人(25.8%)となっている。

- ・ 非市街地カーブは、正面衝突が16人(64.0%)、車両単独が9人(36.0%)
- ・ 市街地交差点は、人対車両が15人(65.2%)

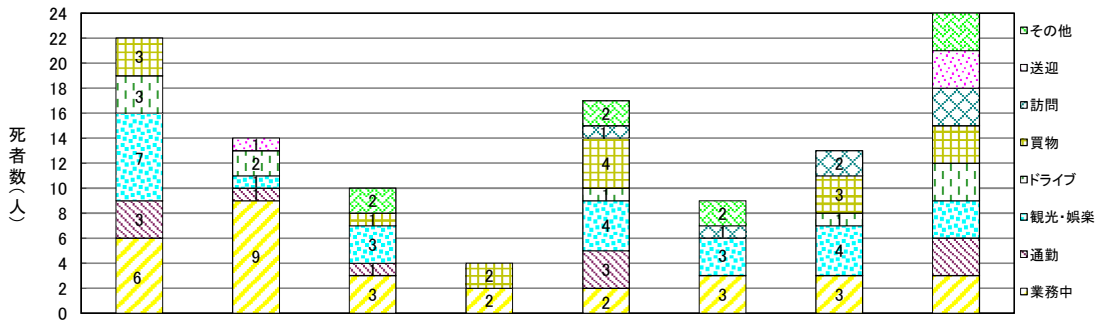


(7) 曜日別

日曜日が22人(24.7%)、次いで木曜日が17人(19.1%)となっている。

- ・ 日曜日は、観光・娯楽が7人(31.8%)、業務が6人(27.3%)
- ・ 木曜日は、観光・娯楽、買物が各々4人(23.5%)

凡例



区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	日	計
死者数	22	14	10	4	17	9	13	89	
構成率(%)	24.7	15.7	11.2	4.5	19.1	10.1	14.6	100.0	
過去5年構成率	18.1	13.4	13.0	13.0	14.9	14.3	13.4	100.0	

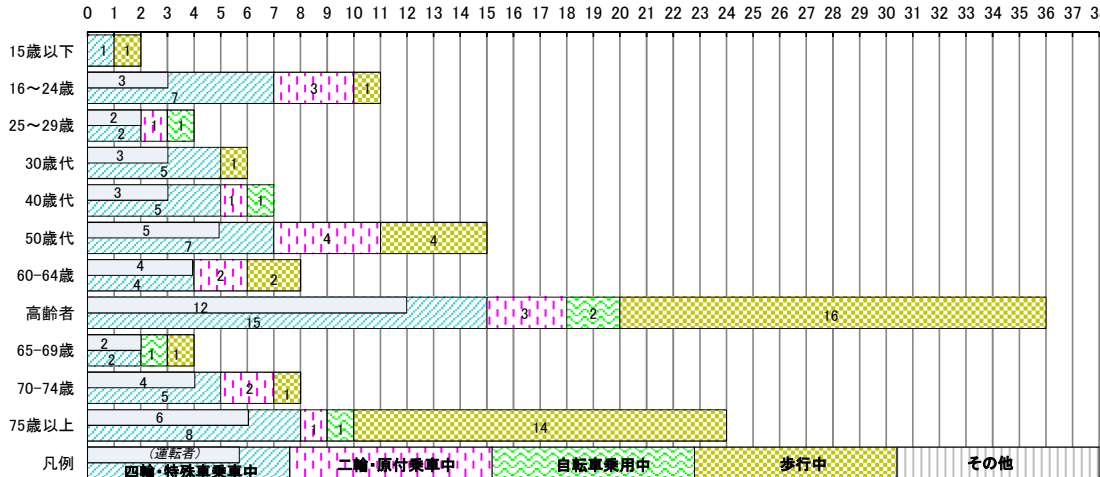
(8) 状態別・年齢層別

死者の年齢層別では、高齢者が36人(40.4%)で、うち75歳以上が24人(66.7%)となっている。

四輪乗車中の死者が46人(51.7%)、次いで歩行中の死者が25人(28.1%)となっている。

- ・ 四輪乗車中の死者別年齢層は、高齢者の死者が15人(32.6%)、50歳代の死者が7人(15.2%)
- ・ 歩行中は、高齢者の死者が16人(64.0%)、50歳代の死者が4人(16.0%)

死者数(人)



状態別 年齢層別		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (原付を含む)	自 転 車 乗 用 中	歩 行 中	そ の 他	計	構 成 率	5年構成率
								(%)	(%)
15歳以下	死者数	1				1	2	2.2	2.4
16~24歳	死者数	7	3			1	11	12.4	7.6
25~29歳	死者数	2	1	1			4	4.5	3.2
30歳代	死者数	5				1	6	6.7	7.1
40歳代	死者数	5	1	1			7	7.9	9.3
50歳代	死者数	7	4			4	15	16.9	11.0
60~64歳	死者数	4	2			2	8	9.0	8.0
高齢者	死者数	15	3	2	16		36	40.4	51.4
65-69歳	死者数	2		1	1		4	4.5	10.8
70-74歳	死者数	5	2		1		8	9.0	9.5
75歳以上	死者数	8	1	1	14		24	27.0	31.1
計	死者数	46	14	4	25		89	100.0	
	構成率	51.7	15.7	4.5	28.1		100.0	—	—
	過去5年構成率	51.8	15.8	7.6	24.4	0.4	100.0	—	—

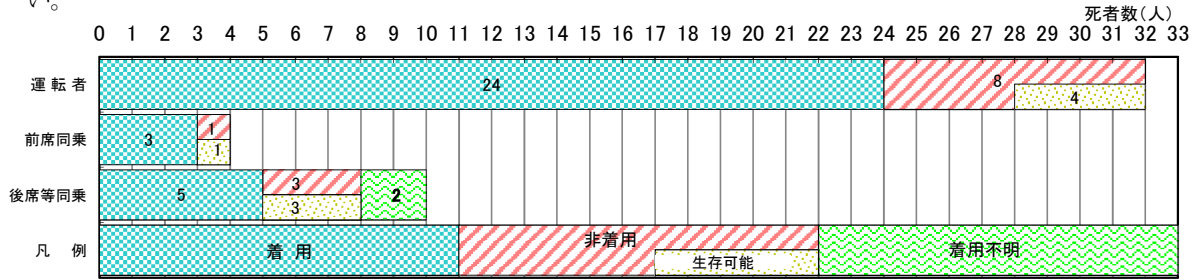
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者46人中、シートベルト非着用者は12人(26.1%)となっている。

非着用者の12人のうち、8人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用				非着用				着用不明	
		計	運転者	同乗者 助手席	同乗者 後部席	計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可	同乗者(後部席) 生存可		
令和5年	46	32	24	3	5	12	8	4	1	3	2
構成率(%)	100.0	69.6	75.0	9.4	15.6	26.1	66.7	50.0	8.3	25.0	4.3

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が4人(33.3%)、50歳代、60～64歳が各々2人(16.7%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
	ヘルム着用	7	1	4	4	3	2	11	2	3	6	
構成率(%)	21.9	3.1	12.5	12.5	9.4	6.3	34.4	6.3	9.4	18.8		100.0
ヘルム非着用	1	1	1	1	2	2	4		2	2		12
構成率(%)	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	16.7	33.3		16.7	16.7		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。
着用不明を除く。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者12人の損傷加害部位をみると天井、座席、車内他が各々2人(16.7%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ヘルム着用			11	2	1	4	1		4	7	2	32
構成率(%)			34.4	6.3	3.1	12.5	3.1		12.5	21.9	6.3	100.0
ヘルム非着用	1	1	1		1			2	2	2	2	12
構成率(%)	8.3	8.3	8.3		8.3			16.7	16.7	16.7	16.7	100.0
運転者		1	1		1			2			2	7
構成率(%)		8.3	8.3		8.3			16.7			16.7	58.3
同乗者	1								2	2		5
構成率(%)	8.3								16.7	16.7		41.7

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。
着用不明を除く。